



交通みやぎ

交通安全協会は、交通事故“ゼロ”をめざし、限りなく歩みつづけるボランティアの団体です。

2019/第196号

発行

一般社団法人 宮城県交通安全協会
(宮城県交通安全活動推進センター)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目2番3号
☎ 022 (223) 1130
http://www.miyagi-ankyoku.or.jp



初春

2019

A HAPPY NEW YEAR



一般社団法人 宮城県交通安全協会
会長 鎌田 宏

新年あけましておめでとぅござい
ます。
皆様には、希望に満ちた新春をお
迎えることと謹んでお慶び申し上げ
ます。
また、平素から各地区交通安全協会
の皆様をはじめ地域のボランティア、
関係機関・団体の皆様方には、地域に
おける交通安全協会活動の各般にわ
たり献身的なご尽力を賜り、厚くお礼
を申し上げます。
さて、昨年の県下の交通情勢は、地区
交通安全協会並びに関係機関・団体地
域や職場を挙げて交通安全に取り組ん
できた結果、交通事故発生件数、負傷者
数ともに一昨年と比較しまして大幅に
減少したものの、交通死亡事故の発生
件数及び死者数が増加し、その特徴と
して高齢者が関わる交通死亡事故の割
合が依然と高く推移した状況でした。
当協会といたしましては、これらの
厳しい交通情勢を直視し、県警察及び
地域の皆様方とともに、高齢運転者の
交通事故防止をはじめ、飲酒運転根
絶、子どもや高齢者、自転車利用者な
どが交通事故に遭わない「安全で安心
快適な交通環境」の実現に努めて参る
所存であります。
どうか、皆様方におかれましては、今
後とも交通安全協会の活動にご理解
をいただき、一層のご支援とご協力を
賜りますようお願い申し上げます。
結びに、会員の皆様並びにご家族
皆様様のご健勝、ご多幸を祈念し、年
頭の挨拶といたします。

2019年 全国交通安全年間スローガン 受賞作品

- 運転者(同乗者)へ呼びかけるもの…
チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席
- 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの…
危険だよ スマホに夢中の そこの君
- 中学生以下へ呼びかけるもの…
とび出さない いったんとまって みぎひだり

各地区交通安全協会長												
阿部 計(河北)	後藤 正士(登米)	小野寺篤朗(佐沼)	吾妻 徳克(気仙沼)	小坂 享正(石巻)	若生 昇(黒川)	佐藤 勲(名取)	鈴木 那彦(塩釜)	三浦 忠(泉)	山下 晴也(仙台東)	菊田 浩之(仙台北)	佐藤 嘉郎(仙台南)	竹田 隆(仙台中央)
藤谷 廣司(南三陸)	柳川 孝行(古川)	和賀 稔(遠田)	千葉 鉄夫(若柳)	佐々木信夫(築館)	尾形 嘉龍(玉造)	佐々木浩章(加美)	高橋 侃(柴田)	風間 文静(白石)	二階堂 元(角田)	佐藤 徹郎(亘理)	専務理事 齋藤 昌彦	

本部長年頭の挨拶



宮城県警察本部長
松岡 亮介

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

平成30年中の交通事故情勢を振り返りますと、死者数においては、戦後最少を記録した一昨年と比較して増加となり、今後、更なる取組が求められておりますが、発生件数、負傷者数につきましては、ともに前年比で大幅に減少し、一定の成果を挙げることができました。

これもひとえに、会員の皆様をはじめとする交通安全関係機関・団体各位が真摯に交通安全活動に取り組んでいただいた結果であり、改めまして感謝申し上げます。

さて、本年5月には、新天皇陛下の御即位と改元、来年には東京オリンピック・パラリンピックの開催、それに続く「第40回全国豊かな海づくり大会」の当県開催など新時代の幕開けを感じさせる国民的行事が今後続く見込みです。

一方、経済活動の活発化に伴う交通の混迷化、2025年問題に象徴される超高齢化社会の到来、IT技術の急速な発展による自動車の自動運転化等、交通に大きな影響を及ぼすと思われる問題も山積しているようです。

県警察といたしましては、新たな時代の要請に応えるための研鑽を深め、貴協会をはじめとする交通安全関係機関・団体の皆様とともに各種交通安全活動を強力に推進する所存であり、全ての県民が交通安全を肌で実感できる交通社会の実現に取り組んでまいります。

貴協会の皆様には、交通事故の防止に向け、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、交通安全協会の益々の御発展と会員の皆様の一層の御活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

知事年頭の挨拶



宮城県知事
村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、宮城県交通安全協会の更なる御発展と会員皆様の御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、本県出身の羽生結弦さんが冬季オリンピック2連覇の偉業を達成され、我が県のみならず、全国に大きな感動や勇気を与えてくれました。また、三陸縦貫自動車道が気仙沼市内の区間が一部開通するなど、震災からの復興が着実に進むとともに、仙台空港の運航路線拡大など「創造的な復興」に向けたこれまでの取組が次々と実を結んだ1年でした。

さて、交通事故のない社会を目指して県が策定した「第10次宮城県交通安全計画」も計画期間の4年目を迎えました。近年の交通事故の発生件数、死傷者数ともに減少傾向となっており、このことは、貴協会をはじめ、交通安全に携わる関係機関・団体の皆様、地域や職域で真摯に交通安全活動に取り組まれた成果であり、深く敬意を表するとともに心から感謝を申し上げます。

その一方で、高齢化社会の進展に伴い、高齢者が関係する交通事故の割合は依然として高水準で推移しているほか、未だ飲酒運転の根絶に至っていないなど、交通事故防止に向けた不断の努力が必要です。

県といたしましては、関係機関・団体の皆様とともに「宮城県交通安全県民運動(マナーアップみやぎ運動)」を一層推進し、交通事故に遭わない安全で快適な交通社会の実現に向けた対策を進めてまいりますので、貴協会の皆様におかれましても、引き続き、交通安全の推進に御協力を賜りますようお願い申し上げます。



冬の交通事故防止の実践

冬道の安全運転 1・2・3運動

▶「1」割のスピードダウン

路面や天候に応じて安全な速度に減速して走行しましょう。

▶「2」倍の車間距離

凍結・積雪路面等では滑りやすいため十分な車間距離を保ちましょう。

▶「3」分前の出発

時間と心身に余裕を持って出発しましょう。



ストップ・ザ飲酒運転!

■ハンドルキーパー運動

「飲まない人」が「飲んだ人」を送る



ハンドル
キーパー

ハンドルキーパーとは自動車仲間と飲食店などに行く場合、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで安全に送り届ける運動です。

飲酒運転は犯罪です。「飲酒運転をしない・させない・許さない」を徹底しましょう。

ご功労の軌跡に輝く栄誉章 交通栄誉章表彰



緑十字 銀章

第59回交通安全国民運動中央大会が平成31年1月17日(木)に、文京シビックホール(東京)において開催されます。

表彰式が執り行われ、本県から次の方々を受章されます(敬称略)。

優良地区安全運転管理者会

仙台中央地区安全運転管理者会

交通安全功労者

小橋利恵記 (石巻地区)
柳館 初夫 (黒川地区)
阿部喜代志 (石巻地区)
畠山 俊郎 (気仙沼地区)
武田 和子 (仙台南地区)

交通安全優良団体

黒川地区交通安全よびかけ隊ひまわり

交通安全優良学校

仙台市立宮城野小学校

優良運転者

鈴木嘉次男 (名取地区)
横田 商事 (気仙沼地区)
大友 安雄 (白石地区)
秋山 和夫 (仙台南地区)
菅原 利美 (仙台南地区)

優良地区交通安全協会

遠田地区交通安全協会



緑十字金章

優良運転者

交通安全功労者



三塚 慶秋 (築館地区)



長谷川 とみ志 (仙台北地区)



遊佐 隆司 (玉造地区)

平成30年度 交通安全功労者等表彰式

地区交通安全協会 交通事故防止対策コンクール表彰

- ◆優秀地区交通安全協会・支部 5地区・10支部
- ◆優良地区交通安全協会・支部 5地区・10支部

東北管区警察局長・ 東北交通安全協会会長連名表彰

- ◆交通安全功労者 33名
- ◆優良運転者 27名
- ◆交通安全功労団体 2団体
- ◆交通安全優良学校等 4校

全日本交通安全協会会長表彰 交通栄誉章「緑十字銅章」

- ・交通安全功労者 40名
- ・一般優良運転者 45名

交通栄誉章「緑十字銅章」(優良運転者)

- ・受賞者配偶者に対する感謝状贈呈 39名

宮城県警察本部長・ 宮城県交通安全協会会長連名表彰

- ◆交通安全功労者 47名
- ◆一般優良運転者
 - ・交通栄誉金賞 72名
 - ・交通栄誉銀賞 63名
 - ・交通金賞 93名
- ◆交通安全功労団体
 - ・優良地区交通安全協会等 15団体
 - ・交通安全功労団体 10団体
 - ・交通安全優良学校等 7校

宮城県警察本部長・ 宮城県交通安全協会会長・ 運送事業団体会長連名表彰

- ・交通栄誉金賞 2名
- ・交通栄誉銀賞 4名
- ・交通金賞 1名



交通安全運動へのご貢献に感謝
11月7日(水)、宮城県警察本部・宮城県交通安全協会が主催する平成30年度交通安全功労者等表彰式が開催されました。県内の交通安全活動に貢献され表彰された個人や団体は、次の通りです。

全力で、ゴールへしっかり走行! 第14回 交通安全高齢者自転車大会の開催結果



第14回交通安全高齢者自転車大会が開催されました。
同大会は、宮城県交通安全協会が主催し、交通安全意識の高揚と多発している高齢者の交通事故防止を目的として開催したものです。
主な成績は次のとおりです。

- | 団体の部 | 個人の部 |
|-----------|-------------------|
| 1位 黒川Bチーム | 1位 西村 上仁 (黒川Aチーム) |
| 2位 角田Bチーム | 2位 豊島 廣光 (角田Bチーム) |
| 3位 遠田チーム | 3位 三浦 道男 (黒川Bチーム) |



ネットde保険@さいくる

自転車利用者向け保険

自転車事故によるリスクを補償します。
○自転車事故で相手にケガを負わせた。
○自転車事故で他人の財物を壊した。
○自転車の事故で自身がケガをした。
等賠償責任やケガ等の補償をします。



みやぎ・交通メモ

- 県内の車両保有台数 (平成30年 8月末現在) 1,709,081台 (原付は含みません)
 - 県内の運転免許人口 (平成30年11月末現在) 1,546,694人 (男性 844,143人・女性 702,551人)
 - 県内の交通事故 (平成30年11月末現在)
 - 人身事故 6,142件 (-611件)
 - 死者数 48人 (-5人)
 - 負傷者数 7,668人 (-782人)
- ※() は前年同期対比です。件数、負傷者数は概数です。



親切・丁寧な指導で優良ドライバーを育てる

宮城県交通安全協会経営の みやぎ自動車学校

会員とご家族様特典

会員とご家族の免許取得は、普通車・自動二輪車の基本講習料金(税込、検定料金を除く)の6%割引をしております。
※ただし、カード支払い及び学割制との重複優遇は適用いたしません。

仙台市太白区東郡山一丁目10-1
TEL 022-248-1104 FAX 0120-380-717 <http://www.miyagi-ds.com/>

交通安全運動 各地区協会の活動レポート

わたしたちの地区協会では、こんな活動を実施しました。

●あなたの会費で、充実した交通安全活動が展開されています。

仙台中央地区



秋の交通安全運動期間中における街頭活動の実施

仙台南地区



女性部合同研修会の実施

泉地区



薄暮時の交通事故防止街頭キャンペーンの実施

塩釜地区



高齢運転者による高速道路逆走防止の講習会の実施

石巻地区



夕暮れ時の交通事故防止運動「ラ・ラ・ラ作戦」の実施

気仙沼地区



交通事故防止街頭キャンペーンの実施

登米地区



夏の交通事故防止運動「一休さん作戦キャンペーン」の実施

古川地区



自転車シミュレーターの体験試乗の実施

若柳地区



大根を配って「飲酒運転・大根(ダイコン)絶作戦」の実施

加美地区



交通事故防止街頭キャンペーンの実施

白石地区



春の交通安全運動出動式の実施

亘理地区



飲酒運転根絶作戦の実施

交通安全協会へのご入会をお願いします

交通安全協会の活動

交通事故のない安全で快適な社会環境を実現するために、さまざまな活動を行っている民間団体です。

例えば、新小学1年生を対象に交通事故から守るため、黄色のランドセルカバーの贈呈や春・秋の交通安全運動など年間を通じて交通安全活動を実施しています。

会員の特典

- 表彰制度/優良運転者等に対する表彰を行っています。
- 協賛店制度/交通安全協会協賛店では、会員の皆さんへ、料金の割引などお得な会員特典を提供しています。
- 入院見舞金等制度/会員の皆様が自動車やバイクを運転中や同乗中、及び自転車乗用中、歩道や横断歩道を歩行中に起きた交通事故により、30日(継続)以上の入院治療の負傷、又は事故後40日以内に亡くなった場合に、見舞金等をお支払いいたします。他に、会員の皆様にDVDの無料貸出など地域に即した制度があります。